

三遠南信自動車道の開通を契機に「天龍峡」を竜東地域拠点とする新たな観光資源開拓のための挑戦

取組に至る背景・事業の目的

- 天龍峡、リンゴをはじめとする果樹収穫体験といった旧来の観光資源に加え、三遠南信自動車道（天龍峡大橋）が開通し、一定の観光需要を刺激する存在となっている。
- 一方で観光スタイルの変化、多様化により既存観光に対する観光客の減少、地区内の人口減少と高齢化が大きな課題である。
- 令和2年度から活動を開始した、当地区が有する「天竜川河畔」、「坂」、「里山」等の潜在的な観光資源と、これらと親和性の高いアウトドアレジャーを掛け合わせ、果樹収穫体験など既存観光も巻き込んだ、観光コンテンツづくりを同様の活動を行う周辺公共の団体と連携しながら、南信州という広域での観光による地域振興活動を継続、進化させて課題解決を図る。

事業内容

- 「第三回南信州龍江アウトドアフェス」の開催
- 農家民泊番組制作およびYouTube 配信
- 分校跡地の活用した1日1組のキャンプサイト本格稼働
- 南信州を紹介する「フリーペーパーMOP」の発刊、配布



【第三回アウトドアフェスの実施】

事業効果

- 一部の人間だけに頼らない、今後の運営を担う実行委員会により、龍江の生業を活かした持続性のある形で南信州龍江アウトドアフェスを開催できた。3年間で2,000名程度の集客を達成。
- 既存のデジタルコンテンツに加え、YouTube 配信番組を制作し、配信。2,000回余の再生回数を獲得、当地の認知度の向上が図れた。
- キャンプサイト本格オープンに伴い、ほぼ毎週末、都市部などからの利用者が訪れるようになった。オープンから10か月で、50組220名余りが利用し、リピート利用者も複数組あり、関係人口増加への拠点として機能した。
- 南信州龍江アウトドアフェスでの出店、無料情報誌「MOP」発刊に伴い、今後の継続的な活動の基礎にもなる周辺事業者との関係づくりを行うことができた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

工夫・苦労した点

- 全ステークホルダーに対する合意形成ステップ。
- 三年目以降の自走での、事業継続を見据えた収益基盤づくり。

課題

- 中心となる活動メンバーが限定されてしまったこと。
- 委員会役職者の定期的な交代に伴い、継続性を保持するのに労力を要したこと。

今後の取り組み

- 現行事業と親和性の高い事業を付加し、事業規模の拡大を図る。
- 現行事業に関与する人を拡大して、安定的な運営を図る。

【選定のポイント】

地域の農業や里山の立地を活かした魅力的な体験イベントを行い、実際の集客につながっており、県が目指す「里山を生かした観光の推進」に資する事業内容である点、周辺団体との連携により、事業の継続性が高い点を評価した。

団体名 龍江地域づくり委員会	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先 0265-27-3004	事業費	4,343,503円
ホームページ https://tatue.jp/	支援金額	3,410,000円